



略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。41歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選(金沢区)。現在、公明党神奈川県本部青年局次長、学生局次長、金沢支部支部長。



国連世界食糧計画(WFP)を訪問



©Mayumi.R

9月8日、公明党横浜市議員団として、みなとみらいの国連WFP日本事務所を訪問。アンダーソン代表より活動の詳細を伺いました。世界中の9人に1人が飢餓状態にあり、それらに対し、緊急の食料支援、栄養支援はもちろん、自立のための農業支援なども展開しています。

日本事務所では、主に日本における意識啓発と資金調達を行っており、自治体や企業との協力関係も広がっています。横浜市は事務所の提供にとどまらず、横浜ウォーキングポイントと連動した寄付*1などを行っています。

*1 参加者全員の月平均歩数が1か月10万歩になると、WFPに40人の給食1年分となる20万円が寄付され、途上国の子どもたちの給食支援に役立てられます。これまでに140万円の寄付が行われています。

横浜市会 平成28年 第3回定例会を開催中!



9月6日(火)～10月18日(火)まで



J-POWER磯子火力発電所を視察



9月23日、太田昭宏前国土交通大臣、斉藤鉄夫前環境大臣、上田勇衆院議員、佐々木さやか参院議員と、公明党横浜市議員の代表で視察。首都圏で唯一の石炭を使った火力発電所ですが、世界最高レベルの発電効率、CO2削減効率を誇ります。石炭と言えば発電効率も低く、環境負荷も高いというイメージでしたが、近年の技術革新の成果が目覚ましいことを確認できました。最終的にはゼロ・エミッション(CO2排出ゼロ)を目指しており、環境負荷を更に下げつつ、限られた化石燃料を効率的に使用することで、再生可能エネルギー技術確立までの電力の安定供給を担います。

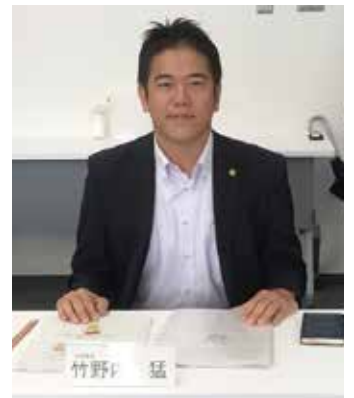
市民相談会を開催

9月25日、釜利谷東地域の赤井町内会館をお借りして開催。13回目の開催となりました今回も、休日の貴重なお時間を割いて、多くの皆さまがご来場下さいました。有意義なご意見・ご要望を賜り、心より感謝致します。



区づくり推進会議

9月7日、金沢区役所にて、本年第3回目の同会議へ。区選出の市議員と区長ら区の職員が集い、区の事業や課題について協議。区中心部・臨海部の活性化などの全体課題から、防犯・美化などの地域の課題まで、幅広いテーマで議論を交わしました。





金沢文庫駅の駐輪場にて、利用者の方々から、盗難やサドルを切られるといったイタズラ被害の報告があり、対策を要望されていました。まずは第1駐輪場C棟に防犯カメラを複数設置。抑止効果と犯罪検挙に期待します。

こちらは富岡東1丁目「青砥」交差点近くの生活道路。この先の道路が一部狭くなっており、大型の車両が侵入して身動きが取れなくなる事態が多発していました。そこで、入口に警告看板を設置。大きな車両は別のルートをご利用下さい。

公明党 横浜市会ニュース「VOICEよこはま」より

「ごみ屋敷条例」を制定! 12月1日より施行

「横浜市建築物等における不良な生活環境の解消及び発生の防止を図るための支援及び措置に関する条例」(いわゆる「ごみ屋敷条例」)が第3回定例会において、賛成多数で可決、制定されました。

ごみ屋敷問題は、対策を実行する根拠法がなく解決に向けては多くの課題がありました。そこで公明党として、昨年9月4日「安心の住環境の整備推進に関する要望書」を市長に提出。ごみの撤去に加え、再発防止も含む根本的な解決に向け、条例化も視野に入れた実効性のある仕組の構築を要望。その後の議論を経て今回の条例制定に結実しました。

条例では、いわゆるごみ屋敷所有者の、生活上の課題や地域社会からの孤立の解消を目指した福祉的な支援を基本としており、罰則や氏名の公表などの規定を設けていません。しかし、こうした支援による解決が困難な場合も想定し、指導・勧告、命令、代執行といった措置方法も規定されています。

12月1日から施行されますが、実効性とスピード感のある問題解決が求められます。関係区局が一体となりきめ細かく取り組むこと、そのために実態に応じた対応ができる専任職員の配置を求めています。



皆さまの声を お聞かせ下さい

FAX:045-345-4345

たけのうち猛
オフィシャルサイト
takenouchi-takeshi.com



メルマガ登録は
こちらから!



空メールを
送信してください